

## 第 145 回 CERN 理事会

2007 年 12 月 14 日 (金) Council Chamber

日本からの参加 : 有菌 (MEXT)・齋藤 (Geneva 代表部) 岩見 (KEK) 近藤 (KEK)

2009 年からの CERN 所長に Rolf-Dieter Heuer (ホイヤー) 氏 (DESY 物理部長) を加盟国の満場一致で選出した。SPC 次期委員長には Enrique Fernandez 氏 (スペイン) を承認した。

LHC 加速器では、Sector45 が 1.9K に冷えパワーテスト中。Sector56 の冷却は進行中。他に 3 つの sector が冷却を準備中である。12/20 まで冷却作業を続け、その後 2 週間は standby mode に入り staff によく休んでもらう。次の理事会 (2008 年 6 月) まで LHC ビームを出すようあらゆる努力を行う。2008 年の夏の初めに LHC 運転を開始する予定であるが、マグネットの全部が冷却されかつそれらの電気テストが完了するまで、開始日を特定することは出来ない。何らかの理由で sector を warm up しなくてはならない場合が生ずれば、2~3 ヶ月の遅れが生ずる。10 月末に、LHC 主リングへの 2 番目の入射ビームライン TI2 へのビーム入射が 1 発で成功した。

Fermilab で CMS のリモートコントロールセンターが開所した。グランサツソへのニュートリノビーム供給が進み、オペラなどに実験が始まった。

LHC 加速器の最大源に使うための 240MCHF 追加拠出承認に従って、テーマ 1~4 の各項目が進んでいる。CLIC 開発はチャレンジであるが、いい結果も出ている。

高騰する学術誌の購読料を下げ、査読による質を維持してかつオープンアクセスにするという SCOAP3 プランが進みつつある。独・伊・仏・CERN などの国からの参加が約束され、それは SCOAP3 全体の 25% で CERN 加盟国の半分以上にあたる。世界の全ての国が参加するようロシア・米国 DOE・日本・中国などにも参加するように連絡を取っている。

(イギリス代表) STFC の報告書が出た。財政的に困難が出てる。ILC への参加を止める。今後はより positive に CERN に focus する。CERN への追加予算は内部で吸収しなくてはならない。

2008-2011 年の 4 年間に CERN 加盟国からの追加拠出 240MCHF (承認済み) を含む 2008 年の CERN 予算の承認投票を行い、Sweden, Norway, Denmark が反対、イギリスが棄権、その他の加盟国が賛成し、2/3 以上の多数決で承認された。

2008 年 10 月 21 日 (火) に関係各国の首脳を招いて LHC Inauguration Ceremony を CERN で開催する。その準備会合を 2008 年 1 月 23 日 (水) に各国の大使を招いて CERN で行う。

(この部分は SPC 会合での報告) ルーマニアやウクライナが CERN 加盟国になるように交渉している。ロシアとは CERN の Associate 国になる方向で議論している。

文責 近藤

注 : 理事会のプレスリリースは以下にある :

<http://info.web.cern.ch/Press/PressReleases/Releases2007/PR11.07E.html>

<http://info.web.cern.ch/Press/PressReleases/Releases2007/PR10.07E.html>